

『ボタン』 作：ポチ子

『ボタン』 作..ポチ子

大人になった。

小さい頃の夢は叶えられなかった。

ただ年齢を重ねただけだ。

スマホをみたら、

自分より年下の子が、

自分と同じ夢を叶えていた。

この子と私の違いって何だろう。

努力の差か、

それとも、その子は選ばれて、

私は選ばれなかつただけなのか。

別にどっちでも良かった。

夢も叶えられず、

何もできることなんてない、

他人の迷惑になるだけの、

こんな人生になんの意味があるんだろう。

終わらせてしまいたい。

でも、死ぬのは怖い。

今日の前に、押せば死ぬるボタンがあったとして、

私は押せるんだろうか。

きつと無理だ。

簡単に、苦しまず死ぬると言われても、

やっぱり怖くて手が震える。

だからと言って、生きるのも怖い。

どうすればいいのかわからない。

死ぬ勇氣、

生きる勇氣、

どっちかがあればいいのに。